

# 竹取新聞

株式会社 カグヤ  
東京都新宿区西新宿3-2-11  
新宿三井ビルディング  
2号館10階



第107版

理念と実践で  
絆を結びます

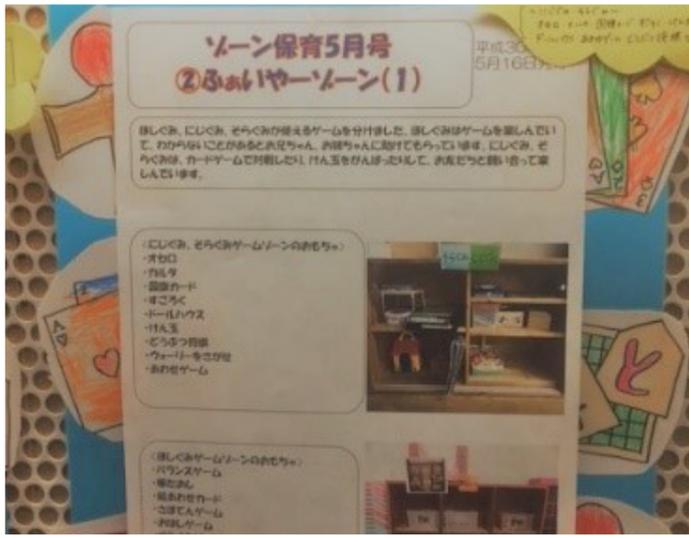
平素より弊社の商品をご愛顧頂きましてありがとうございます。この新聞は、「子ども第一義」の理念のもとに活動しているカグヤクルーの日々の出来事・内省を発信することで、皆様の保育に少しでもお役に立てればと始めたものです。記事中はそのまま実践を表現することを優先し、乱筆乱文で恐れ入りますが、何卒ご容赦くださいますようお願いいたします。

無料メールマガジンも  
配信中です

神家 総本家  
瓦版



こちらからご登録いただけます  
www.caguya.co.jp/  
kawaraban/



先生方が子どもたちの遊びの様子を文章と写真で解説

## ゾーンの名前を 子どもたちが考える

大阪市にある認定こども園古市たいよう学院様の掲示板で「ふあいやゾーン」という名の掲示物を発見しました。現場の先生にお話しを伺うと、「例えば、ふあいやゾーンは机上遊びのことです。大人が遊びの名前を付けると、ここは制作ゾーンなどとしても、子どもたちにもっと玩具なども大事にして欲しい、親しみを持って欲しいと思いい、どんな名前にしたらい？と投げかけてみたところ、子ど

もたちが話し合い名前を付けました。」と仰っていました。資料にして貼りだすのは1カ月一度。去年からはじめて1年が経ち、貼り出した資料はファイリングしているとのこと、遊びがどう発展しているかも見ることが出来るそうです。普段遊んでいる所に名前を付けることで大切さが増す。それは「玩具を大切にしない！」と教えるよりも、子どもたちに伝わるような環境設定のように感じました。

## 今と初心を見つめる



待ったり譲ったり...  
子ども同士で育まれる思いやり

沖縄県今帰仁村にありまず、あめそこ保育園園長の與那嶺先生は、公立保育所に勤めていた際に、「子どもたちがより主体的に育つように環境を通じた保育をもっと行っていきたい」という強い想いを持ち、今年の4月に認可保育園を開園しました。沖縄県は5歳児になると就学前教育で小学校に併設する幼稚園にいく習慣がまだまだ根強い中、子どもたちが安心して過ごし、成長できるようにと5歳児の保育にも挑戦しているらしいと聞きました。開園一年目、様々な保育体験を持った先生方が集まり、皆でこの園の保育を確立していくこの創設期。幼稚園での習慣であった「小学校との合同運動会」一つをとっても、子どもたちの興味関心や発達に合わせてというよりも、小学校に合わせる側面もある中、本当に今



異年齢の環境を通じて、様々な助け合い、育ち合いが生まれています

まで通りにすることがこの園の「理念」に沿っているのだからかと、皆で一つひとつを「今の子どもたちにとってどうか」「自分たちの理念に照らしたらどうか」と話し合っているのが印象的でした。指針も、地域も、大人たちの暮らしも、子どもたちの環境も変わる中で、「今」何をすべきなのかを考え続ける先生方。それは既に沢山の保育環境の中で熱中し、助け合う子どもたちの姿に表れているように感じました。今を見つめ、初心から働くことを私たちも大切にしていきたいと思

## 子どもは地域の宝



「金づちで木を叩いて元気が調べるんだよ」樹木医の仕事に興味津々！

熊本県の新明保育園様では、園の今年のテーマ「ふるさと」に合わせ地域のお仕事紹介をしようということと、先月も園に地域の樹木医の方が来られ、子どもたちが園庭の樹木に肥料を与えたりしながら、樹木医という仕事を知るだけでなく、自分の身の回りにある木（自然）にも興味が深まってきたそうです。他にも、地域のほたる博士や保護者たちも一緒に近くの川で「ほたる鑑賞」をしたりと、色々な体験を地域と繋がりながら行っているそうです。そんなお話を聞きなが

ら、子どもだけではなく、子どもを取り巻く先生たちや保護者、地域の方々もとてもイキキ輝いているように感じました。まさに、子どもは地域の宝であり、子どもの育ちは地域の幸せなのかもしれません。改めて「保育」という役割の大きさやその豊かさ、尊さを教えて頂き、私たちも子どもを取り巻く社会の一員として、自分たちの仕事の先にある目指している姿や「何のために働くか」の目的や理念を、目の前の実仕事と分げずに楽しんで働けたらと思います。

カグヤでは、クルー同士別々の場所においても、互いの気持ちや様子が共有できるように、「カグヤニュース」という社内報を毎日メール配信しています。ここでは、その中から一部を抜粋して、日々の実践をご紹介します。

### 見守る田んぼ



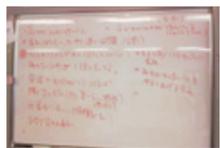
強い子が育つよう、気持ちを込めて植えています。今後は早乙女姿でやろうという案も浮上中(?)

暮らしに寄り添った初夏の文化のひとつに田植えがあります。今年も千葉県にある耕さない自然の田んぼ、藤崎農場さんにて田植えを行いました。通常の農家さんでは子どももの苗（稚苗）を植えるそうですが、藤崎農場さんではそれよりも大きく育てた大人の苗を植えます。大人の苗になるまでにはあえて冬の厳しい気候のもとで育てることで、病気や自然災害に強いたくましい稲が育つのだそうです。そんな藤崎農場さんの深い

### 一緒に喜ぶ働き方

クルーと、パートナーさんが一堂に会する初心会議。多面的な視点からの発言は喜びと学びの宝庫！

先月は全員の初心を皆で握り合おうと、一人ひとり発表する場が持たれました。各々の初心に違いはありますが、根底にある「想い」に違いはなく、その後、ブレストで行われた話し合いでは「カグヤをどういう会社にしたいか」をテーマに、ワクワクするようなアイデアがたくさん飛び出しました。以前の私たちが取ら他人の意見を聞くだけで、一緒に取り組もうとも、盛り上がることに



アイデアも十人十色！すぐにでも出来そうなものから始めよう♪



アイデアも十人十色。未来のカグヤも楽しみでいっぱいにな～れ！

もなかったかも知れませんが、でも考えることから一緒にやるようになって「他人のアイデアも、自分のアイデアも一緒に楽しむ」そんな空気が根付いてきた気がします。私たちが実践はとても小さなことの積み重ねばかりですが、「一緒に喜ぶ働き方」が世の中の当たり前になるよう、これからも皆で笑い合える文化をつくり続けようと思います。



かまどで炊いた玄米は甘くてホカホカ♪子どもたちにも人気です。



いつもあたたかい雰囲気でお迎えしてくれる藤崎農場さん。カグヤ田、頑張ります！

見守りにより育っているのは稲だけではなく、オタマジャクシやミミズ、タニシなどの生き物とも共生しており、まさに「見守る田んぼ」なのです。カグヤでも今年「伝統芸能部」が発足し、今後は園の先生方や子どもたちと一緒に草刈りや稲刈りをしていと考えています。また、一仕事したあとは本格的なかまどで炊いたおいしい玄米が待っています♪  
実際に田植えを体験し話をお伺いすることで、子どもたちに残したいのは自然に沿って生きてきた昔からの暮らしだということに気付かされます。これから見守る田んぼで子どもたちや先生方とどんな経験ができるか、今から楽しみにしています。

### カグヤの「今」がそこにあります

毎年、お客様のもとにお届けしている暑中見舞いハガキとクリスマスカード。こちらのデザインを手掛けて下さっているのは、イラストレーターの月音京子さまです。もう10年以上のお付き合いになりますので、毎年その時々会社の近況をお伝えすると、パッとイメージが湧いて瞬く間にラフが仕上がります。上の記事にあるように、今

### 安心の暮らしを引き継ぐ

先日、新潟県十日町市で古民家再生に取り組んでいるドイツ人建築家のカールベンクス氏とお会いするご縁がありました。

この方は25年前にこの土地に移住してから現在までに50棟ほどの古民家を再生しており、この村にはたくさんの方々が移住してきて今では「奇跡の村」と呼ばれています。カールベンクス氏が、日本で古民家再生をするのは「日本の木造建築は世界一だからです」と仰り日本の伝統木像建築文化が失われていくのは何よりも残念であるといっています。同時に「これは世界にも日本の職人さんにとっても未来の子どもたちにとっても絶やしてはいけない文化です」と仰られておられたのが印象に残りました。「本来、家は”財宝”なのだからいつまでも大切にしなければならぬ」という言葉にまるでむかしからある

年は千葉の田んぼでの「お米作り」が本格的にスタートしましたので、そこからのインスピレーションで暑中見舞いのイラストが決まる予定です。どのようなイラストになるか、ぜひ楽しみにお待ちください。



ここ数年は古民家「聴福庵」の取り組みが多かったため、かくや姫が居間で微笑んでいる姿だったり、古井戸から水が溢れ出すイメージだったり…と、イラストを通してカグヤの「今」を味わって頂けるような内容になっています。

日本の精神を語られているように感じ、とても懐かしくあたたかい気持ちになりました。ドイツでは昔から古い建物は壊していけないという法律があるそうです。その法律によって古いものは貴重だという認識が子どもたちにもあるそうで古民家を簡単に壊すこともないといっています。むかしからある変えてはならないものは何で、何は新しくしていくのかということを幼い頃から学べば自分たちの伝統文化で時代に合わせて文明とも調和していけるように思えます。

懐かしい未来を残し譲っていくことは、子どもたちの今を大切に见守ることであり、子どもたちが安心して暮らしていける環境を引き継いでいくことのように思っています。今後も社業を通して子ども第一義の理念に従って私たちの使命を果たしていきたいと思っています。

#### 【編集後記】

今月も竹取新聞をご覧頂き、ありがとうございました。梅雨入りしましたが、皆様体調管理には充分気を付けてお過ごし下さいませ。

カグヤは「子ども第一義」の理念を実践し、お客様の発展と自立に貢献していきます



本社  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11  
新宿三井ビルディング2号館10階  
tel.03-5909-7155  
fax.03-5909-7199

カグヤウェブセンター  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-1-17  
東京堂神保町第3ビルディング8階  
tel.03-3518-6217  
fax.03-3518-6218

フリーダイヤル 0120-917-389  
URL: <http://www.caguya.co.jp>  
E-mail: [support@caguya.co.jp](mailto:support@caguya.co.jp)  
受付時間 月～金 9:00～18:00  
(土・日曜祝祭日を除く)